

出演者プロフィール



トヨタ・マスター・プレイヤーズ, ウィーン

ウィーン国立歌劇場の協力を得て、本公演のために特別に編成された世界最高レベルの室内オーケストラ。

ウィーン・フィルハーモニー管弦楽団、ウィーン国立歌劇場のメンバーを中心に、ヨーロッパで活躍するアーティスト仲間たちも加わった
30名で編成されている。

[芸術監督: フォルクハルト・シュトイデ]

■芸術監督・コンサートマスター



フォルクハルト・シュトイデ Volkhard Steude 〈ウィーン・フィルハーモニー管弦楽団 コンサートマスター〉(プログラム B/C)
1971年ライプツィヒに生まれ、5歳よりヴァイオリンを始める。88年ベルリンのハンス・アイスラー音楽大学に入学、ヨアヒム・ショルツ、ヴェルナー・ショルツ両教授に師事。大学在学中、エスタ国際ヴァイオリン・コンクール第4位入賞、シュポア国際ヴァイオリン・コンクールにて特別賞を受賞する他、グスタフ・マーラー・ユース管弦楽団の第1コンサートマスターを務める等、オーケストラ奏者としても活躍。94年同大学卒業と同時にウィーンに留学、元ウィーン・フィルハーモニー管弦楽団奏者であるアルフレド・スター教授に師事。同年コンサートマスターとしてウィーン国立歌劇場管弦楽団に入団、98年ウィーン・フィルハーモニー管弦楽団に入団、99年よりコンサートマスターを務めている。2002年には自らが主宰するシュトイデ弦楽四重奏団を結成する等、ソロや室内楽の多方面で活躍している。

■ソリスト



©Theresa Wey

ヘドウィグ・リッター Hedwig Ritter 〈ソプラノ〉(プログラムA)

1995年ブルゲンランド(オーストリア)に生まれる。9歳でPrima La Musicaコンクールにてトランペットで第1位受賞。ウィーン市立音楽芸術大学及びケルン音楽舞踊大学にて音楽を研鑽。期間中に、『アルチーナ』のオベルト役や『こうもり』のアデーレ役等でウィーンやケルンの歌劇場に出演。2025/26年シーズンはアーヘン(ドイツ)にて『ダイドーとエネアス』の第1魔女役、リンツ(オーストリア)にて『3人姉妹の家』のハンネル役、『パルジファル』の花の乙女役、『秘密の結婚』のカロリーナ役、ランゲンロイス・オペレッタ・フェスティバル(オーストリア)にて『こうもり』のアデーレ役、ヴェルツブルク(ドイツ)にて『魔笛』の夜の女王役、ビーレフェルト(ドイツ)にて共同制作のオペラ『訪問者』の娘役等で出演予定。今後、より世界的な活躍が期待される、スター候補のコラトウーラ・ソプラノである。

■指揮



©飯島隆

大植 英次 Eiji Oue (プログラムC)

桐朋学園で齋藤秀雄に師事。1978年タングルウッド・ミュージック・センターに学び、同年ニューイングランド音楽院指揮科に入学。タングルウッド音楽祭でレナード・バーンスタインと出会い、世界各地の公演に同行、助手を務めた。ミネソタ管弦楽団音楽監督、ハノーファー北ドイツ放送フィルハーモニー管弦楽団首席指揮者、バルセロナ交響楽団音楽監督、大阪フィルハーモニー交響楽団音楽監督を歴任。2005年『トリスタンとイゾルテ』で日本人指揮者として初めてバイロイト音楽祭に出演。09年ニーダーザクセン州功労勲章・一等功労十字章受章。現在、大阪フィルハーモニー交響楽団桂冠指揮者、ハノーファー北ドイツ放送フィルハーモニー管弦楽団名誉指揮者。ハノーファー音楽大学終身正教授。

■管弦楽



名古屋フィルハーモニー交響楽団 Nagoya Philharmonic Orchestra （プログラム C）

愛知県名古屋市を中心に、中部・東海地方の音楽界をリードするプロ・オーケストラ。革新的な定期演奏会のプログラムや、充実した演奏内容で広く日本中に話題を発信。“名（めい）フィル”の愛称で親しまれている。

2023 年 4 月川瀬賢太郎が第 6 代音楽監督に就任。他に現在の指揮者陣には、小泉和裕（名誉音楽監督）、小林研一郎（桂冠指揮者）、モーシェ・アツモン（名誉指揮者）、ティエリー・フィッシャー（名誉客演指揮者）が名を連ねている。23 年 4 月小出稚子が第 4 代コンポーザー・イン・レジデンスに就任。楽団創立は 1966 年 7 月 10 日。現在はバラエティに富んだ年間 110 ほどの演奏会に出演。

■メンバー

[ヴァイオリン]



ミラン・セテナ **Milan Šetena** 〈ウィーン・フィルハーモニー管弦楽団〉

プラハ(チェコ)に生まれる。1988 年プラハ音楽院を卒業後、ウィーンにて A.スター教授に師事。90 年ウィーン国立歌劇場管弦楽団、93 年ウィーン・フィルハーモニー管弦楽団に入団。室内楽奏者として、ザルツブルクをはじめとする音楽祭に出演し、世界各地で演奏活動を行う。また、ウィーン・ストリング・ソロISTSのメンバー、シュルホフ弦楽四重奏団の第 1 ヴァイオリン奏者を務めている。



ホルガー・グロー **Holger Groh** 〈ウィーン・フィルハーモニー管弦楽団〉

1976 年オーストリアに生まれる。ヴァイオリンを F.ディータード、A.スター、T.ヴァルガ、A.ヴィノクロフの各氏に師事。2000 年よりグラーツ交響楽団第 1 コンサートマスターに就任。06 年ウィーン国立歌劇場管弦楽団、09 年ウィーン・フィルハーモニー管弦楽団に入団。また、リンツ・ブルックナー音楽祭やザルツブルク音楽祭をはじめ、ヨーロッパやアジアの著名な音楽祭に出演し、ソリスト及び室内楽奏者としても活躍している。



ヴィルジニー・ビュスカイユ **Virginie Buscail** 〈フランス国立放送フィルハーモニー管弦楽団〉

パリ高等音楽院を首席で卒業後、1996 年よりフランス国立放送フィルハーモニー管弦楽団に入団し、2001 年より同楽団のコンサートミストレスに就任。室内楽奏者としてトリオ・ジョルジュ・サンドのメンバーを務め、ラ・フォル・ジュルネをはじめ、数多くの音楽祭に出演した他、オリジナル・レーベルを立ち上げ CD をリリースしている。17 年よりパリ地方音楽院にて後進の指導を務めている。



ミヒャール・マチャンチック **Michał Maciaszczyk** 〈ソリスト/ポリッシュ・アート・フィルハーモニック芸術監督〉

8 歳から音楽教育を受ける。ポズナン音楽大学卒業。ウィーンに在住し、ウィーン室内管弦楽団のコンマスを務め、ウィーン国立歌劇場舞台管弦楽団、ウィーン・フィルハーモニー管弦楽団の客演奏者として多くの世界最高のアーティストとの共演を通して、クラシック音楽の極みを体験している。ソリスト、室内楽奏者及び指揮者としても世界各地で活躍している。現在、ポーランドのデル・アルテ・フェスティヴァル芸術監督も務めている他、客員教授として北京中央音楽院に招かれている。



シュケルツェン・ドリ **Shkelzen Doli** 〈ウィーン・フィルハーモニー管弦楽団〉

アルバニアに生まれる。セルビアのノヴィ・サド音楽学校を経てウィーン芸術大学を卒業。17 歳でユーゴスラヴィア青少年音楽コンクールに優勝し、ソリストや室内楽奏者としてヨーロッパ、北米、アフリカ、イスラエル、日本等の各地で演奏。2006 年ウィーン国立歌劇場管弦楽団、09 年ウィーン・フィルハーモニー管弦楽団に入団する他、ウィーン・ヴィルトゥオーゼン、アンサンブル・ウィーン・カレッジ、ザ・フィルハーモニックス等のメンバーを務めている。



アンドレアス・ノイフェルド **Andreas Neufeld** 〈ベルリン放送交響楽団〉

1976 年クラスノダル(ロシア)に生まれる。2000 年ハイデルベルク-マンハイム音楽大学卒業。EU ユース・オーケストラ、グスタフ・マーラー・ユース管弦楽団、ドイツ・オペラ・ベルリン管弦楽団、ベルリン・コンツェルトハウス管弦楽団、ベルリン国立歌劇場管弦楽団、ウィーン・フィルハーモニー管弦楽団等出演。98～09 年ベルリン・フィルハーモニー管弦楽団第 1 ヴァイオリン奏者を務め、12 年よりベルリン放送交響楽団第 1 ヴァイオリン・フォアシューピラーを務めている。



©MeikeKenn

ラヘル・リリング **Rahel Rilling** 〈元北ドイツ放送交響楽団〉

1976 年シュトゥットガルト(ドイツ)に生まれる。父であり指揮者の H.リリングに幼い頃から音楽の薫陶を受け、4 歳よりヴァイオリンを始める。ソリストとして世界各地のオーケストラと共演する他、著名な音楽祭にも招かれる。また 2006 年ホーエンシュタウフェン室内楽音楽祭を創設し、毎年秋季シュトゥットガルトの近郊にて開催。



マリアン・ガスパー **Marián Gašpar** 〈元カメラータ・ザルツブルク コンサートマスター〉

1970 年ブラティスラヴァ(スロヴァキア)に生まれる。89 年よりウィーン国立音楽大学にて G.ヘッツェル、R.キュッヒル、A.スターの各教授に師事。ウィーン・カンマーフィルハーモニー、ウィーン・カンマー・オーケストラ、カメラータ・ザルツブルクのコンサートマスター、またカペラ・イストロポリターナ、スロヴァキア・フィルハーモニー管弦楽団、スピリット・オブ・ヨーロッパ管弦楽団のゲスト・コンサートマスターを歴任。

[ヴィオラ]



エルマー・ランダラー Elmar Landerer 〈ウィーン・フィルハーモニー管弦楽団〉
1974 年ザルツブルク(オーストリア)に生まれる。90 年グスタフ・マーラー・ユース管弦楽団及び EU ユース・オーケストラに入団。
96 年ウィーン国立歌劇場管弦楽団、99 年ウィーン・フィルハーモニー管弦楽団に入団。
また、99 年よりウィーン・フィルハーモニア・トリオ、ベルヴェデーレ・トリオ、2000 年よりウィーン・ヴィルトゥオーゼン、
02 年よりシュトイデ弦楽四重奏団等のメンバーを務めている。



ペーター・サガイシェック Peter Sagaischek 〈ウィーン・フォルクスオーパー交響楽団ソロ・ヴィオラ〉
1965 年ウィーンに生まれる。ウィーン国立音楽大学にて R.キュッヒル、A.スターの両教授に師事。90 年ヴィオラ奏者として
ウィーン・フォルクスオーパー交響楽団に入団。93 年より同楽団のソロ・ヴィオラ奏者。
室内楽奏者として、これまでフィルハーモニー弦楽四重奏団、グスタフ・マーラー四重奏団、トリプルス・ウィーンのメンバーを務める他、
ソリストとしても活躍している。



ローマン・ベルンハルト Roman Bernhart 〈ウィーン交響楽団ソロ・ヴィオラ〉
1968 年オイラツフェルド(オーストリア)に生まれる。ブルックナー音楽院をヴァイオリンで卒業後、ウィーン国立音楽大学に進学し、ヴィオラに転向。
アンサンブル・アクトゥエル、エオス弦楽四重奏団等のメンバーとして、ウィーン・コンツェルトハウスのコンサートシリーズに長年出演する他、
ヨーロッパの著名な音楽祭に招かれている。93 年よりウィーン交響楽団ソロ・ヴィオラ奏者を務めている。

[チェロ]



ペーテル・ソモダリ Péter Somodari 〈ウィーン・フィルハーモニー管弦楽団/ウィーン国立歌劇場管弦楽団ソロ・チェロ〉
1977 年にヴェスプレーム(ハンガリー)に生まれる。4 歳よりチェロを始める。2005 年マルクノイキルヘン国際コンクールにて優勝を飾る。
室内楽奏者として、C.テツラフ、L.カヴァコス、T.ツインーマン、G.クルターク等多くの音楽家と共演。ハンガリー国立歌劇場、ルツェルン交響楽団
を経て、12 年にウィーン国立歌劇場及びウィーン・フィルハーモニー管弦楽団のソロ・チェリストに就任。18 年よりウィーン国立音楽大学客員教授を
務めている。



エディソン・パシュコ Edison Pashko 〈ウィーン・フィルハーモニー管弦楽団〉
1973 年コルカ(アルバニア)に生まれる。93 年グラーツ音楽大学に入学。リーゼン国際チェロ・コンクール第 2 位受賞。
2010 年ウィーン国立歌劇場管弦楽団、13 年ウィーン・フィルハーモニー管弦楽団に入団。また、現代音楽の分野でも精力的に活動し、
ウィーン放送交響楽団、アンサンブル・ディ・ライヘ、アンサンブル・ウィーン・カレッジの現代音楽コンサートに出演している。



エリック・ウメンホフファー Erik Umenhoffer 〈ウィーン交響楽団第 2 ソロ・チェロ〉
1989 年バヤ(ハンガリー)に生まれる。8 歳よりチェロを始め、ヤーノシュ・シュタルケル・コンクール第 1 位受賞等、数多くのコンクールに入賞する。
2008 年ブダペスト音楽大学に入学し、10 年より R.ナジ教授のもとで研鑽を積む。ウィーン・コンツェルト・フェライン、ウィーン交響楽団等のメンバー
を務める他、ウィーン・フィルハーモニー管弦楽団の補助団員としても活躍。現在、ウィーン交響楽団第 2 ソロ・チェロ奏者。

[コントラバス]



ヨゼフ・ニーダーハマー Josef Niederhammer 〈ソリスト/ウィーン国立音楽大学教授〉
1977 年ウィーン国立音楽大学卒業。ウィーン交響楽団、バンベルク交響楽団、バイエルン州立管弦楽団を経て、
86～91 年ミュンヘン・フィルハーモニー管弦楽団ソロ・コントラバス奏者。ミュンヘン音楽院、ミュンヘン音楽大学等の教授を歴任する他、
ウィーン・フィルハーモニー管弦楽団の客演奏者や、室内楽奏者としても活躍している。現在、ウィーン国立音楽大学教授を務めている。



ミヒャエル・ブラーデラー Michael Bladerer 〈ウィーン・フィルハーモニー管弦楽団〉
1968 年ヴァイドホーフエン(南オーストリア)に生まれる。ウィーン国立音楽大学を最優秀の成績で卒業。ウィーン交響楽団、
ベルリン・コーミッシェ・オーパー等を経て、99 年ウィーン国立歌劇場管弦楽団、2002 年ウィーン・フィルハーモニー管弦楽団に入団。
また PMF や南カリフォルニア大学、ニューイングランド音楽院等でマスタークラスを開催。ウィーン八重奏団等のメンバーを務めている。

[フルート]



エルヴィン・クランバウアー Erwin Klambauer 〈ウィーン交響楽団ソロ・フルート〉

1968 年オーストリアに生まれる。9 歳よりブルックナー音楽院にてフルートとピアノを始める。ウィーン国立音楽大学にて W.シュルツ氏に師事、91 年最優秀の成績で卒業。93 年ウィーン放送交響楽団のソロ・フルート奏者に就任、現在はウィーン交響楽団ソロ・フルート奏者を務める。また、室内楽奏者として、ウィーン放送交響楽団木管五重奏団等のメンバーを務めている。



マティアス・シュルツ-アイグナー Matthias Schulz-Eigner 〈ウィーン国立歌劇場舞台管弦楽団〉

1972 年ウィーンに生まれる。ウィーン国立音楽大学にて父の W.シュルツ氏に学び、最優秀の成績で卒業。ソリストとして、これまでウィーン室内管弦楽団、ブルックナー管弦楽団、ザルツブルク・モーツァルテウム管弦楽団、中部ドイツ放送交響楽団等と協演し、各地の音楽祭に出演。ウィーン国立歌劇場管弦楽団、ウィーン・フィルハーモニー管弦楽団、ウィーン放送交響楽団等に出演している。

[オーボエ]



ヘルベルト・マデルターナー Herbert Maderthaner 〈ウィーン・フィルハーモニー管弦楽団〉

1981 年ヴァイドホーフェン(南オーストリア)の音楽一家に生まれる。7 歳より兄の元でクラリネットを始める。その後オーボエの音色に魅了され、96 年に転向し、2000 年ウィーン市立音楽院に合格。05 年よりウィーン放送交響楽団の第2オーボエ及びコールアングレ奏者を5年間務めたのち、09 年ウィーン国立歌劇場管弦楽団、13 年ウィーン・フィルハーモニー管弦楽団に入団。また、室内楽奏者としても活躍している。



ベルンハルト・ハインリヒス Bernhard Heinrichs 〈チューリッヒ歌劇場管弦楽団ソロ・オーボエ〉

1963 年バンベルク(ドイツ)に生まれる。ミュンヘン音楽大学にて G.パッシン教授に師事。91 年チューリッヒ歌劇場管弦楽団のソロ・オーボエ奏者に就任。N.アーノンクール、C.アバド等の著名な指揮者と共演する他、ザルツブルク音楽祭やシュレスヴィヒ・ホルシュタイン音楽祭、PMF 等の世界各地の音楽祭に出演。またアーキス五重奏団のメンバーを務める等、室内楽奏者としても活躍している。

[クラリネット]



©Julia Frank

アンドレア・ゲツチュ Andrea Götsch 〈ウィーン・フィルハーモニー管弦楽団〉

1994 年ボルザノ(イタリア)に生まれる。ボルザノ音楽院、ザルツブルク・モーツァルテウム音楽大学、ニュルンベルク音楽大学、ウィーン市立音楽芸術大学を経て、ウィーン国立芸術大学を優秀な成績で卒業。2019 年ウィーン国立歌劇場管弦楽団、22 年ウィーン・フィルハーモニー管弦楽団に入団。また、指揮者、作曲者としても活躍。演奏の傍、ウィーン国立芸術大学、ザルツブルク・モーツァルテウム音楽大学にて後進の指導にもあたる。



ペーター・ロイットナー Peter Leuthner 〈ウィーン国立歌劇場管弦楽団客演奏者〉

ウィーン国立音楽大学にて P.シュミードル教授に師事し、1990 年卒業。A.プリンツ、K.ライスター両教授のマスタークラスを受ける。その後、4 年間にわたってオーストリア国立歌劇場管弦楽団のメンバーを務めると同時に、客演奏者としてウィーン国立歌劇場管弦楽団、ウィーン・フィルハーモニー管弦楽団で演奏。97 年ウィーン・フィルのメンバー達と共に CD レコーディングを行っている。

[ファゴット]



©Wolf-Dieter Grabner

ダヴィッド・ザイデル David Seidel 〈元ウィーン放送交響楽団首席〉

1976 年ザルツブルクに生まれる。モーツァルテウム音楽大学にて M.トゥルコヴィッチ、富永芳憲、R.ガラーの各氏に師事。98 年にウィーン放送交響楽団に入団、2004 年から 19 年まで首席奏者を務める。現在はソリスト及び室内楽奏者としてヨーロッパやアジアで活躍する。また、グラーツ国立音楽大学教授を務める他、ウィーン市立音楽芸術大学、東京藝術大学、南カリフォルニア大学、浜松国際管楽器アカデミー等で講師として後進の指導を行っている。



ビアンカ・シュースター Bianca Schuster 〈ウィーン・フォルクスオーパー交響楽団〉

1973 年フォアアールベルク(オーストリア)に生まれる。93 年にウィーン芸術大学に入学、M.トゥルコヴィッチ、S.トゥルノフスキーの両教授に師事。2012 年よりウィーン・フォルクスオーパー管弦楽団第1ファゴット奏者。また、客演奏者としてウィーン・フィルハーモニー管弦楽団、ウィーン国立歌劇場等に招かれる他、ウィーン室内管弦楽団等のメンバーを務めている。グスタフ・マーラー私立音楽大学教授。

[ホルン]



ロナルド・ヤネツィック Ronald Janezic 〈ウィーン・フィルハーモニー管弦楽団首席〉
1968 年ノインキルヘン(オーストリア)に生まれる。父親は元ウィーン・フィルハーモニー管弦楽団のホルン奏者。6 歳よりヴァイオリンを始める。
ウィーン国立音楽大学に入学後、83 年ホルンに転向。90 年第 1 ホルン奏者として、ウィーン国立歌劇場管弦楽団に入団。
92 年よりウィーン・フィルハーモニー管弦楽団ソロ・ホルン奏者。また、ソリストとして、同楽団と協演した CD もリリースされている。



ヤン・ヤンコヴィッチ Jan Janković 〈ウィーン・フィルハーモニー管弦楽団〉
1984 年ザグレブ(クロアチア)の音楽一家に生まれる。96 年ウィーン市立音楽大学に入学、F.ガブラー、W.ヤネツィックの両氏に師事。
2003 年最優秀の成績で卒業後、ウィーン・トーンキュンストラー管弦楽団やザグレブ・フィルハーモニー管弦楽団を経て、
08 年ウィーン国立歌劇場管弦楽団、11 年ウィーン・フィルハーモニー管弦楽団に入団。
また、ウィーン・ヴィルトゥオーゼンやウィーン木管八重奏団等のメンバーを務めている。

[トランペット]



ステファン・ハイメル Stefan Haimel 〈ウィーン・フィルハーモニー管弦楽団〉
1982 年クラーゲンフルト(オーストリア)に生まれる。小学生の頃より父の F.ハイメル氏にトランペットを学ぶ。
ウィーン国立音楽大学にて J.ポンベルガー氏に師事、2002 年卒業。ウィーン・フィルハーモニー管弦楽団をはじめとする
ウィーンの主要な管弦楽団にて客演奏者として活躍。04 年ウィーン国立歌劇場管弦楽団、07 年ウィーン・フィルハーモニー管弦楽団に入団。



ゲルハルト・ベルンドル Gerhard Berndl 〈ウィーン国立歌劇場舞台管弦楽団〉
1981 年シュタイヤー(オーストリア)に生まれる。10 歳よりアッシュバツハ音楽学校にてトランペットを始める。
ウィーン国立音楽大学にて J.ポンベルガー氏に師事し、2008 年卒業。ウィーン・フィルハーモニー管弦楽団をはじめ、
ウィーンの主要な管弦楽団にて客演奏者として活躍、03 年 9 月よりウィーン国立歌劇場舞台管弦楽団へ入団。

[ティンパニ]



ミハエル・ヴラダー Michael Vlado 〈ウィーン交響楽団ソロ・ティンパニ〉
1962 年ウィーンに生まれる。ウィーン国立音楽大学にて H.ベルガー教授に師事。84 年よりザルツブルク・モーツァルテウム管弦楽団、
カメラータ・アカデミカ・ザルツブルクのティンパニ奏者を歴任し、90 年ウィーン交響楽団のソロ・ティンパニ奏者となる。
またウィーン・ヴィルトゥオーゼン、ウィーン・コンチェントゥス・ムジクス等のメンバーとしても活躍している。